●母音（短母音・長母音・二重母音）

アラビア語の母音には、短母音 a, i, u、長母音 ā, ī, ū、二重母音 ay, aw の8つしかありません。短母音は文字によって表記されず、補助記号（母音記号）＜母音 a ＝ファトハ、母音 i ＝カスラ、母音 u ＝ダンマ、無母音＝スクーン＞が必要に応じて使われます（必須ではありません）。
長母音にはアリフ・ヤー・ワーウの各文字が使われ、それぞれ＜ ā ＝ファトハ＋アリフ、ī ＝カスラ＋ヤー、ū ＝ダンマ＋ワーウ＞で表記します。
（一部の語は、語末の長母音 ā をファトハ＋アリフ・マクスーラ（点なしヤー）で表記します。）
二重母音 aw, ay の表記には、スクーンの付いたワーウとヤーを使います。
下の表をよく見て、各種母音の表し方・読み方をおぼえましょう。

短母音			無母音
ダンマ	カスラ	ファトハ	スクーン
ـُ	ـِ	ـَ	ـْ
u	i	a	母音なし（子音のみ）
بُ	بِ	بَ	بْ
bu	bi	ba	b

長母音			
ـُو	ـِي	ـَا	ـَى
ū	ī	ā	ā
بُو	بِي	بَا	بَى
bū	bī	bā	bā

二重母音	
ـَوْ	ـَيْ
aw	ay
بَوْ	بَيْ
baw	bay

●タンウィーン・シャッダ・その他の補助記号

タンウィーンとは、名詞の語末に現れる n 音のことで、不定を表します。
un（主格）、in（属格）、an（対格）には、それぞれダンマ・カスラ・ファトハを2つ重ねた記号を使います（ダンマのタンウィーンの形に注意）。
an（対格）の場合には、通常語末にアリフを添えます。ただし、ター・マルブータの対格にはアリフを書きません（その他の例外については下の表参照）。
シャッダは同じ子音を2つ重ねることを表す記号です（カスラの位置に注意しましょう）。
ワスラは、結ぶハムザとその母音が消失し発音されないことを表す記号、
マッダはハムザ（声門閉鎖音）＋ā を表す記号で、ともにアリフの上に付されます。
短剣アリフは、一部の語において使用される、長母音 ā を表す記号です。

タンウィーン（語末の n）		
主格	属格	対格
ـٌ	ـٍ	ـً
un	in	an
بٌ	بٍ	بًا ةً اءً ىً
bun	bin	ban tan ā’an an

シャッダ ＋ u, un	シャッダ ＋ i, in	シャッダ ＋ a, an	シャッダ（重子音）
بُّ	بِّ	بَّ	ـّ
bbu	bbi	bba	同じ子音の連続
بٌّ	بٍّ	بًّا	بّ
bbun	bbin	bban	bb

ワスラ	マッダ	短剣アリフ
اٱ	آ	ـٰ
ハムザ＋母音の消失	’ā	ā
اٱ	آ	بٰ
（発音されない）	’ā	bā

※ワスラとマッダは、アリフの上の記号です。